

2024年度卒業生進路一覧

2025年3月31日現在

4期生	4年制大学	流通科学大学 経済学部	1
		福島大学 共生システム理工学類	1
		静岡大学 人文社会科学部 経済学科	1
		相愛大学 人文学部	1
	専門学校	大阪コミュニティワーカー専門学校 コミュニティケア科	1
		駿台観光&外語ビジネスカレッジ大阪 経営ビジネスコース	1
		東京国際ビジネスカレッジ東京校 国際教養コース	1
		大阪モード学園 グラフィック学科	1
		麻生工科自動車大学校 国際自動車整備科	1
		麻生工科自動車大学校 2級自動車整備科	1
		早稲田文理専門学校 アプリ・web制作学科	1
		関西外語専門学校 英語国際ビジネス学科 貿易専攻	1
		東京国際ビジネスカレッジ福岡校 国際経営学科	1
		宮崎情報ビジネス専門学校 国際ビジネスコース	1
		専門学校 福岡デザイナー・アカデミー アニメーション学科	1
		専門学校 福岡デザイナー・アカデミー グラフィックデザイン学科	1
		九州英数学館	2
		九州工科自動車専門学校	1
		西鉄自動車整備専門学校 留学生自動車整備士コース	1
		福岡外語専門学校 国際ビジネス科 国際キャリアコース	1
	就職	有限会社 三谷空調	1
		協和機工（株）	1
		ほめちぎる教習所伊勢（三重県南部自動車学校）	1
		株式会社MGS	1
		アゼリア協同組合	1
		株式会社 大阪王将	1
		アジアンG協同組合	1
		株式会社イハラ製作所	1
		有限会社華英	1
		株式会社 あきんどスシロー	1
		株式会社 アットワークコミュニケーション	1
		丸徳産業株式会社	1
		そば処 くまの里	1
		ラックデザイン株式会社	1
		下田聚楽ホテル	1
	その他	帰国	3
			39

JLPT取得状況（2025年3月現在）

	2023年度4月期生	2024年度4月期生
N1	6	1
N2	19	10
N3	12	18
N4	0	3
N5	0	4

課程修了者の日本語能力習得状況等

作成年月日: 2025 年 5 月 28 日

日本語教育機関名: 五島日本語学校

設置者名: 学校法人 九州総合学院

課程修了者の日本語能力習得状況等	基準適合性
第44号: 大学等への進学者、入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交・公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者及び「日本語教育の参照枠」のA2相当以上と認められる者の合計が、課程修了の認定を受けた者の7割以上	○

基準該当者割合 ②÷(①+③)	100.0%
課程修了者数(※1、※2) ①	39
基準該当者合計数(実人数) ②	40

左記「基準該当者合計数(実人数)」のうち退学者数(44号ただし書き) ③	1
--------------------------------------	---

※1 退学者は含めない。

※2 各年度の課程修了の認定を受けた者が、その修了日までに入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交、公用及び技能実習を除く。)への在留資格変更許可申請をした場合において、当該申請に対する処分が、この号に基づく地方出入国在留管理局への報告までになされないときは、当該者を分母となる課程修了認定者の数に該当する者として加える必要はない。

基準該当者の各内訳		日本語科進学2年コース			
※該当する要件が二以上ある生徒は、a～cのそれぞれに計上可。ただし、「基準該当者合計数(上記②)」は実人数を算出するため、当該生徒について重複を除き、一人として扱うこと。	a. 大学等への進学者の数 ※我が国での進学に限り、非正規生は除く。	21			
	b. 入管法別表第一の一の表若しくは二の表の上欄の在留資格(外交、公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者の数	16			
	c. 「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者の数 ※法務省HPに掲載された試験又は日本留学試験に限る。	37			

※「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者(C)については、「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることを証明するための書類(試験の合格証等)の写しを本報告書と併せて提出すること。

基準該当者合計数(②)及び内訳(a～cのそれぞれの合計)の公表の方法

公表方法: 五島日本語学校ホームページにて公表